

例題 9 点の存在範囲②

O, A, B が定点で, $\vec{OA} = \vec{a}$, $\vec{OB} = \vec{b}$ とする. $\vec{OP} = m\vec{a} + n\vec{b}$ について, m, n が $1 \leq m+n \leq 3$, $m \geq 0$, $n \geq 0$ を満たすとき, 点 P の存在範囲を図示せよ.

解 $m+n=k$ ($k>0$) とおき, 両辺を k で割って, $\frac{m}{k} + \frac{n}{k} = 1$

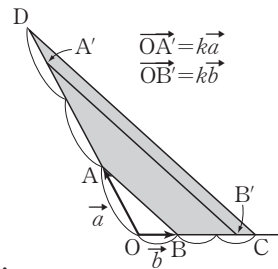
ここで, $\frac{m}{k} = m'$, $\frac{n}{k} = n'$ とおくと, $m' + n' = 1$ ……①

$$\vec{OP} = m\vec{a} + n\vec{b} = m'k\vec{a} + n'k\vec{b} = m'(k\vec{a}) + n'(k\vec{b})$$

$$k\vec{a} = \vec{OA'}, \quad k\vec{b} = \vec{OB'} \text{ とおくと, } \vec{OP} = m'\vec{OA'} + n'\vec{OB'}$$

① および, $m' \geq 0$, $n' \geq 0$ より, P は線分 A'B' 上を動く.

更に, A', B' はそれぞれ OA, OB を k 倍した延長線上を動くから, $1 \leq k \leq 3$ より, P は右の図のような台形 ABCD の周上と内部を動く. ただし, C は $\vec{OC} = 3\vec{OB}$, D は $\vec{OD} = 3\vec{OA}$ を満たす点である.

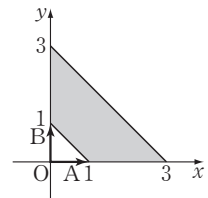


[注] 存在範囲の図を簡単に類推するには, $\vec{OA} = (1, 0)$, $\vec{OB} = (0, 1)$ と定めて考える.

$\vec{OP} = (x, y)$ とすると, $\vec{OP} = m\vec{OA} + n\vec{OB}$ より,

$(x, y) = m(1, 0) + n(0, 1) = (m, n)$ となり, m, n の条件と x, y の条件が一致する. そこで, $1 \leq x+y \leq 3$, $x \geq 0$, $y \geq 0$ の領域を図示すると, 右の図の影をつけた部分になる. ただし, 境界線を含む.

このような特別な \vec{OA} , \vec{OB} での図を参考にして考えるとわかり易く, 結果が早く類推できる.

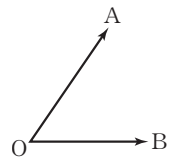


29 次の問いに答えよ.

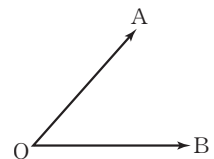
(1) O を座標平面上の原点とし, $\vec{OA} = (1, 0)$, $\vec{OB} = (0, 1)$ とする. P(x, y) に対し, $\vec{OP} = m\vec{OA} + n\vec{OB}$ とおく. m, n が次の条件を満たすとき, 点 P の存在範囲を図示せよ.

- (ア) $0 < m+n < 1$, $m > 0$, $n > 0$ (イ) $0 \leq 2m - n \leq 1$
 (ウ) $-1 \leq m+n \leq 2$, $mn \geq 0$

(2) (1) で求めた(ア)~(ウ)の図を参考にして, \vec{OA} , \vec{OB} が右の図のように与えられたとき, $\vec{OP} = m\vec{OA} + n\vec{OB}$ で与えられる点 P の存在範囲を(1)の(ア)~(ウ)の条件で図示せよ.



30 O, A, B は定点とし, $\vec{OP} = \alpha\vec{OA} + \beta\vec{OB}$ で与えられる点 P について, α, β が, $1 \leq \alpha + \beta \leq 2$, $0 \leq \alpha \leq 1$, $0 \leq \beta \leq 1$ を満たすとき, 点 P の存在範囲を図示せよ.



●ポイント

① $\vec{OP} = m\vec{a} + n\vec{b}$, $Am + Bn = C$ ($C \neq 0$) のとき, P の存在範囲を図示するには,

$m' = \frac{A}{C}m$, $n' = \frac{B}{C}n$, $\vec{a}' = \frac{C}{A}\vec{a}$, $\vec{b}' = \frac{C}{B}\vec{b}$ とし, $\vec{OP} = m'\vec{a}' + n'\vec{b}'$, $m' + n' = 1$ で考える.

35 次の2直線のなす鋭角を求めよ.

- (1) $x+\sqrt{3}y-1=0$, $x-\sqrt{3}y+4=0$
 (2) $2x+3y+1=0$, $3x-2y-4=0$

36 次の問いに答えよ.

- (1) 2直線 $2x+y=5$, $ax+(a+1)y+2=0$ のなす鋭角が 45° となるように a の値を定めよ.
 (2) 点 $(-\sqrt{3}, 1)$ を通り, 直線 $\sqrt{3}x+y=2$ とのなす鋭角が 30° である直線の方程式を求めよ.

例題 12 円のベクトル方程式

平面上に動点 P と, 3 定点 A, B, C がある. このとき, 次の問いに答えよ.

- (1) 等式 $|\vec{AP}+\vec{BP}+\vec{CP}|=6$ を満たす点 P はどんな図形上にあるか.
 (2) (1) のとき, $P(x, y)$, $A(1, 1)$, $B(2, 4)$, $C(6, 10)$ とする. x, y の関係式を求めよ.

解 (1) $P(\vec{p})$, $A(\vec{a})$, $B(\vec{b})$, $C(\vec{c})$ とすると, 条件式は,

$$|(\vec{p}-\vec{a})+(\vec{p}-\vec{b})+(\vec{p}-\vec{c})|=6, |3\vec{p}-(\vec{a}+\vec{b}+\vec{c})|=6$$

 両辺を 3 で割ると, $|\vec{p}-\frac{\vec{a}+\vec{b}+\vec{c}}{3}|=2 \dots\dots \textcircled{1}$

よって, P は $\triangle ABC$ の重心を中心とし, 半径 2 の円周上にある.

- (2) $\frac{\vec{a}+\vec{b}+\vec{c}}{3}=(3, 5)$ だから, $\vec{p}-\frac{\vec{a}+\vec{b}+\vec{c}}{3}=(x-3, y-5)$

よって, $\textcircled{1}$ より, $\sqrt{(x-3)^2+(y-5)^2}=2$ 両辺を 2 乗すると,
 $(x-3)^2+(y-5)^2=4$

37 $A(2, 3)$ を中心とし, $B(5, -1)$ を通る円の方程式を求めよ.

38 平面上の 2 定点 A, B に対し, 次の等式を満たすような点 P の軌跡を求めよ.

- (1) $|2\vec{AP}+3\vec{BP}|=15$ (2) $\vec{AP}\cdot\vec{BP}=c^2$ (c は定数)

39 $\triangle ABC$ の外心を O , 外接円の半径を 1 とする. $4\vec{OA}+5\vec{OB}+6\vec{OC}=\vec{0}$ であるとき, 辺 AB の長さを求めよ.

40 平面上で \vec{c} を定点 C の, \vec{p} を動点 P の位置ベクトルとする. C を中心とする半径 r の円周上の点 $P_1(\vec{p}_1)$ における接線の方程式は, $(\vec{p}-\vec{c})\cdot(\vec{p}_1-\vec{c})=r^2$ で表されることを証明せよ.

41 O を原点とする座標平面上で, $A(1, 1)$ に対し, $\vec{OA}\cdot\vec{OP}\leq 2$, $|\vec{AP}|^2\leq 5$ を満たす点 P の存在範囲を図示せよ.

●ポイント

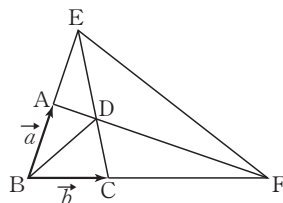
- ① $A(\vec{a})$ を中心とする半径 r の円のベクトル方程式は, $|\vec{p}-\vec{a}|=r$
 $\vec{p}=(x, y)$, $\vec{a}=(a, b)$ とすると, 円の方程式は, $(x-a)^2+(y-b)^2=r^2$

混合問題

A

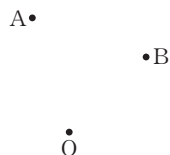
① 同一平面上に異なる3点 O, A, B があって、 $\overrightarrow{OA}=\vec{a}, \overrightarrow{OB}=\vec{b}, \vec{a} \times \vec{b}$ とする。
 $\overrightarrow{OD}=3\vec{a}+\vec{b}, \overrightarrow{OE}=2\vec{a}-\vec{b}, \overrightarrow{OF}=\vec{a}-3\vec{b}$ で定まる3点 D, E, F は一直線上にあることを示せ。

② 対辺がともに平行でない四角形 $ABCD$ の辺 BA の延長上に点 E を、
 辺 BC の延長上に点 F をそれぞれ $\overrightarrow{BA}=\overrightarrow{AE}, 2\overrightarrow{BC}=\overrightarrow{CF}$ となるようにとり、
 $\overrightarrow{BA}=\vec{a}, \overrightarrow{BC}=\vec{b}$ とおく。線分 AF と CE の交点が D となるとき、次の問いに答えよ。



- (1) \overrightarrow{BD} を \vec{a}, \vec{b} で表せ。
- (2) $\triangle AED$ と $\triangle CFD$ の面積の比を求めよ。

③ 右の図のように、3点 O, A, B があり、 $\overrightarrow{OP}=m\overrightarrow{OA}+n\overrightarrow{OB}$ で定まる点 P が次の条件を満たすとき、点 P の存在範囲を図示せよ。



- (1) $2m+3n=1, -1 \leq n \leq 1$
- (2) $1 \leq m-2n \leq 2$

④ O を原点とする平面上の動点を $P(\vec{p})$ とし、 $A(\vec{a}), B(\vec{b})$ を定点とする。このとき、
 等式 $|2\vec{p}-\vec{a}|=|\vec{p}+\vec{b}|$ を満たす点 P の軌跡を求めよ。

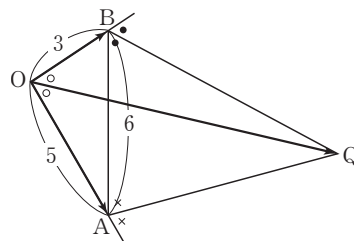
B

⑤ 四角形 $ABCD$ は、 $\overrightarrow{AB}+\overrightarrow{AD}=\overrightarrow{AC}$ を満たすとする。次の問いに答えよ。

- (1) 点 E が、 $\overrightarrow{EB}+\overrightarrow{EC}+\overrightarrow{ED}=-\overrightarrow{EA}$ を満たすとき、点 E はどのような点か。
- (2) 実数 r が、 $-1 \leq r \leq 1$ の範囲を動くとき、 $\overrightarrow{PB}+\overrightarrow{PC}+\overrightarrow{PD}=r\overrightarrow{PA}$ を満たす点 P はどんな図形を描くか。
- (3) 辺 BC の中点を M とする。(2)において、3点 D, P, M が一直線上にあるときの r の値を求めよ。

⑥ $OA=5, AB=6, BO=3$ である $\triangle OAB$ がある。このとき、
 次の問いに答えよ。

- (1) $\triangle OAB$ の $\angle O$ 内の傍心 ($\angle O$ の二等分線と $\angle B$ および $\angle A$ の外角の二等分線の交点) を Q とするとき、 \overrightarrow{OQ} を $\overrightarrow{OA}, \overrightarrow{OB}$ を用いて表せ。
- (2) 線分 OQ の長さを求めよ。



■ ヒント

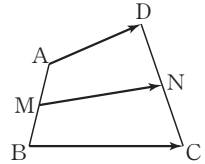
- ⑤ 始点を A にそろえ、 \overrightarrow{AE} や \overrightarrow{AP} を \overrightarrow{AC} で表してみる。
- ⑥ OB の延長上に $OB=BD$ となる点 D をとり、 BQ と AD との交点を S として考える。

章末問題 A

- 1 四角形 ABCD の辺 AB, CD の中点をそれぞれ M, N とするとき,

$$\overrightarrow{BC} + \overrightarrow{AD} = 2\overrightarrow{MN}$$

であることを証明せよ.



- 2 $\vec{a} = (2, 3)$, $\vec{b} = (5, 1)$ のとき, 次の条件を同時に満たす \vec{x} の成分を求めよ.
 $(\vec{x} - \vec{b}) \parallel \vec{a}$, $|\vec{x} + \vec{b}| = 13$

- 3 $\overrightarrow{OA} = \vec{a}$, $\overrightarrow{OB} = \vec{b}$, $\overrightarrow{OC} = \vec{c}$ が, 等式 $|\vec{b}|^2 - |\vec{c}|^2 = 2\vec{a} \cdot (\vec{b} - \vec{c})$ を満たすとき, $\triangle ABC$ の形状を調べよ.

- 4 座標平面上に 3 点 $O(0, 0)$, $A(2, 3)$, $B(6, 1)$ がある. 点 P が $\overrightarrow{OP} = s\overrightarrow{OA} + t\overrightarrow{OB}$, $2s + 3t \leq 1$, $s \geq 0$, $t \geq 0$ (s, t は実数) で表されているとき, 点 P の存在範囲を図示せよ.

- 5 次の問いに答えよ.

- (1) $|\vec{a}| = |\vec{b}|$, $|\vec{a} + \vec{b}| = |\vec{a} - t\vec{b}|$ ($t \neq 0$) のとき, \vec{a} , \vec{b} のなす角 θ ($0^\circ \leq \theta \leq 90^\circ$) を求めよ.
- (2) $\vec{a} = (0, 3)$ と なす角が 60° で大きさが 2 のベクトルを \vec{b} とする. 2 つのベクトル $t\vec{a} - \vec{b}$ と $\vec{a} - t\vec{b}$ が直交するとき, 実数 t の値を求めよ.

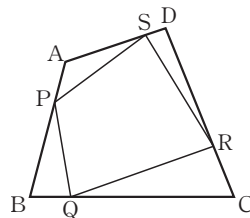
- 6 O, A, B は一直線上にないとする. $\overrightarrow{OC} = 2\overrightarrow{OA}$, $\overrightarrow{OD} = 3\overrightarrow{OB}$ となるように点 C, D をとり, AD, BC の交点を E とする. このとき, 次の問いに答えよ.

- (1) $\overrightarrow{OA} = \vec{a}$, $\overrightarrow{OB} = \vec{b}$ として, \overrightarrow{OE} を \vec{a} , \vec{b} で表せ.
- (2) OE, AB, CD のそれぞれの中点 P, Q, R は一直線上にあることを示せ.

- 7 $\triangle ABC$ において, 辺 AB を 1 : 2 に内分する点を D, 辺 AC を 3 : 1 に内分する点を E とする. また, 2 つの線分 CD と BE の交点を P とし, 直線 AP と辺 BC の交点を Q とする. このとき, $BP : PE$, $CP : PD$, $AP : PQ$ を求めよ.

章末問題 B

- 1 平行四辺形でない四角形 ABCD の辺 AB, BC, CD, DA 上にそれぞれ点 P, Q, R, S を $AP:AB=CR:CD=\alpha:1$, $BQ:BC=DS:DA=\beta:1$ となるようにとるとき, 次の問いに答えよ.
- (1) \overrightarrow{PQ} を \overrightarrow{AB} と \overrightarrow{BC} で表せ.
 - (2) 四角形 PQRS が平行四辺形になるための条件を α, β で表せ.



- 2 次の問いに答えよ.
- (1) xy 平面上の点 $(1, -1)$ を通り, $\vec{u}=(2, 1)$ を方向ベクトルとする直線 l の方程式を x, y を用いて表せ.
 - (2) (1)の直線 l と直交し, 点 $(-4, 2)$ からの距離が 1 である直線の方程式を x, y を用いて表せ.
- 3 $OA=\sqrt{3}$, $OB=\sqrt{5}$, $AB=\sqrt{6}$ の $\triangle OAB$ の外心を P とする. $\overrightarrow{OA}=\vec{a}$, $\overrightarrow{OB}=\vec{b}$ として, \overrightarrow{OP} を \vec{a}, \vec{b} で表せ.
- 4 $AB=4$, $BC=5$, $CA=6$ の $\triangle ABC$ の重心を G, G から辺 BC に下ろした垂線の足を H とする. このとき, $\frac{HC}{BC}$ の値を求めよ.
- 5 3 定点 A, B, C に対し, 次の等式を満たす点 P の軌跡を求めよ.
- $$\overrightarrow{PA} \cdot \overrightarrow{PB} + \overrightarrow{PB} \cdot \overrightarrow{PC} + \overrightarrow{PC} \cdot \overrightarrow{PA} = 0$$
- 6 平面上に 4 点 O, A, B, C があり, $\overrightarrow{OA} + \overrightarrow{OB} + \overrightarrow{OC} = \vec{0}$, $OA=1$, $OB=2$, $OC=\sqrt{2}$ のとき, $\triangle ABC$ の面積を求めよ.
- 7 $\triangle ABC$ の辺 BC 上に点 D があり, 次の等式が成り立っているとき, 点 D はどのような点か.
- $$AB^2 + AC^2 = 2AD^2 + BD^2 + CD^2$$